

今年度の代替輸送ワークショップ・訓練の考察

令和6年2月20日

北陸地域国際物流戦略チーム事務局

1. アンケート結果の分析

1-1 アンケート集計

1-2 アンケート結果

1-3 アンケートの分析結果を踏まえた今後の方針(案)

2. 令和5年度内航WS・外貿訓練の課題点・反省点

2-1. 代替輸送訓練の参加者募集の課題点・反省点

2-2 訓練を円滑に進めるための課題点・反省点

1. アンケート結果の分析

1-1 アンケート集計

1. 対象者

令和5年10月31日(火)内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送ワークショップ(以下、内航WS)及び11月1日(水)外貿コンテナ代替輸送訓練(以下、外貿訓練)でのWeb参加者(視聴含む)。

2. 回答数

60件(回収率67%)(母数89名)

	内航WS		外貿訓練	
	当日出席数	アンケート回答数	当日出席数	アンケート回答数
参加	19名	13件	22名	17件
視聴	23名	15件	25名	15件
合計	42名	28件	47名	32件

3. 設問(10問)

●ワークショップ/代替輸送訓練への参加について

1. 代替輸送訓練への参加又は視聴したかいずれか教えてください。
2. 平成25年から外貿コンテナ代替輸送訓練を実施しています。過去に参加したことはありますか。
3. 今回の代替輸送訓練についてどのように思われましたか。
4. 今回のワークショップを受けて、貴社の事業継続計画へは活用できそうですか。(複数回答可)

●貴社の事業継続計画の策定状況・代替輸送の記述について

5. 貴社の事業継続計画の策定状況は現在どのような状況ですか。
6. 貴社の事業継続計画に記載されている代替輸送の内容について教えてください。(複数回答可)

7. 有事の際に備えて、北陸の港湾を利用していますか。または、これから利用していく計画はありますか。
8. 被災時に事業継続のため代替輸送を行うことを想定した際に、手順の中で分かりにくい点や難しいと思う点があれば教えてください。(複数回答可)

●今後の代替輸送訓練に向けて

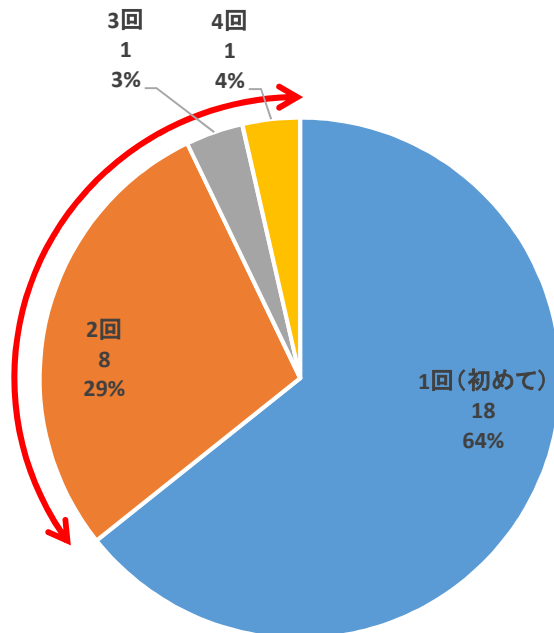
9. 今後の代替輸送訓練において提供して欲しい情報があれば教えてください。(複数回答可)
10. 今回のワークショップを受けて、次年度以降の訓練のテーマ・方法、運営方法についてご提案や改善点、その他ご感想がありましたらご記載ください。

1-2 アンケート結果（過去の訓練への参加実績）

- ① 内航WSは今年度が初開催であるが、過去の外貿訓練の参加実績のある方は1/3程度であった。
- ② 外貿訓練は過去の外貿訓練の参加実績のある方は1/4であった。

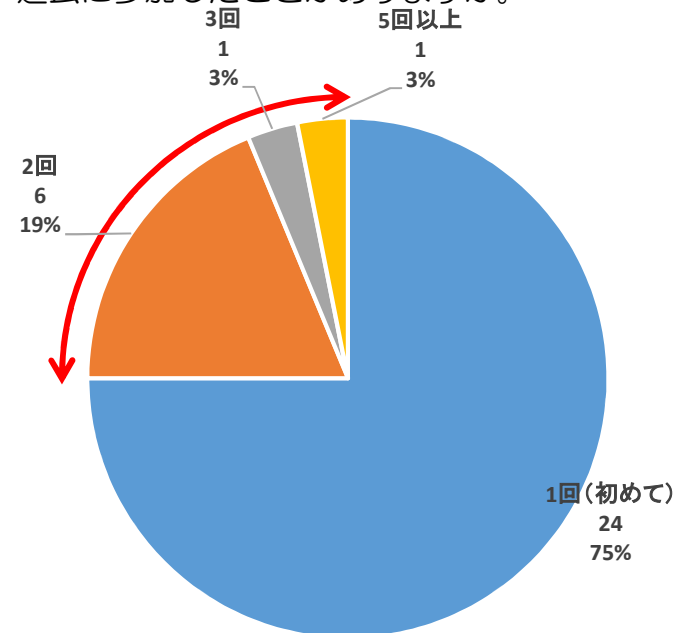
①過去の外貿訓練への参加実績（内航WS）

2. 平成25年から外貿コンテナ代替輸送訓練を実施しています。過去に参加したことはありますか。



②過去の外貿訓練への参加実績（外貿訓練）

2. この代替輸送訓練は平成25年から実施していますが、過去に参加したことがありますか。



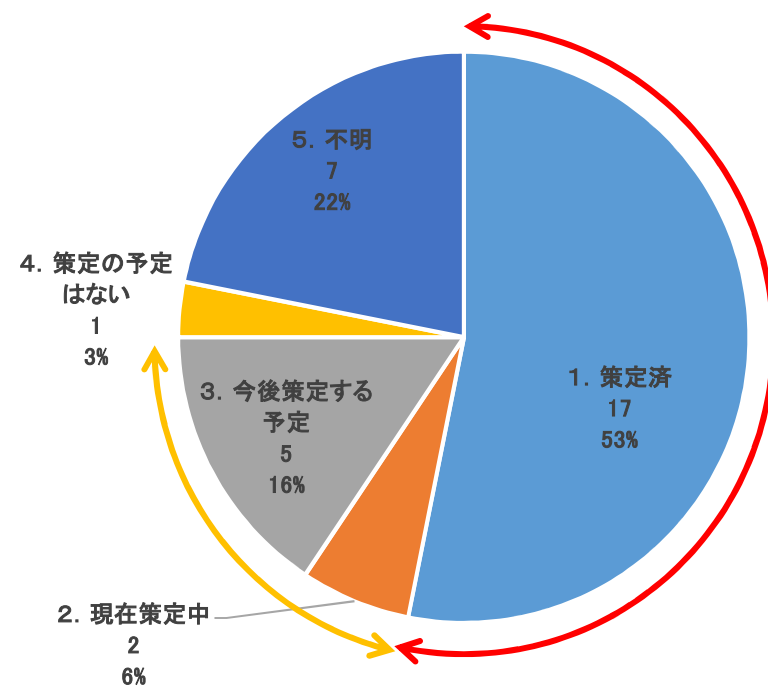
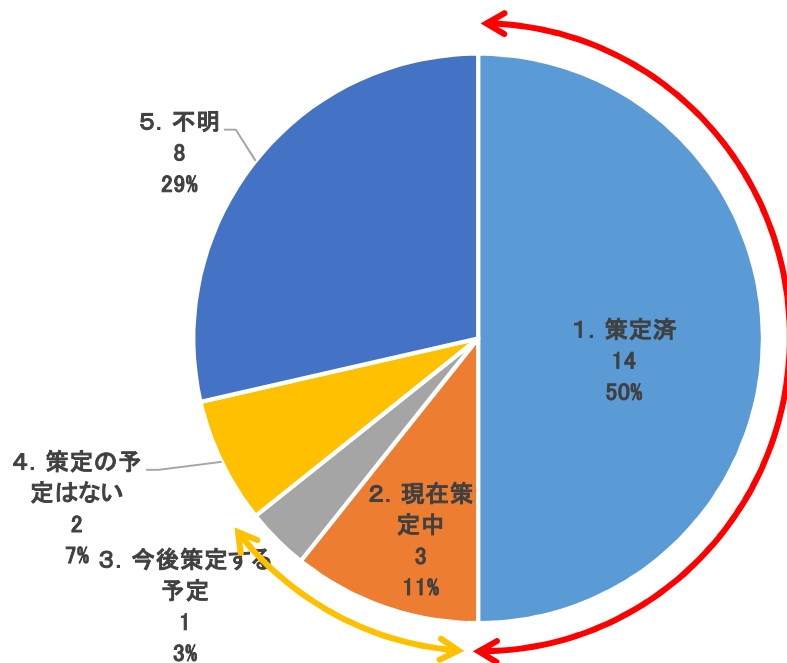
1-2 アンケート結果（過去の訓練への参加実績）

- ① 内航WS及び外貿訓練において、自社の事業継続計画を策定済の回答は、いずれも5割程度あった。
- ② さらに、今後、事業継続計画を策定する予定も含めると7割程度ある。

①自社の事業継続計画の策定状況（内航WS）

②自社の事業継続計画の策定状況（外貿訓練）

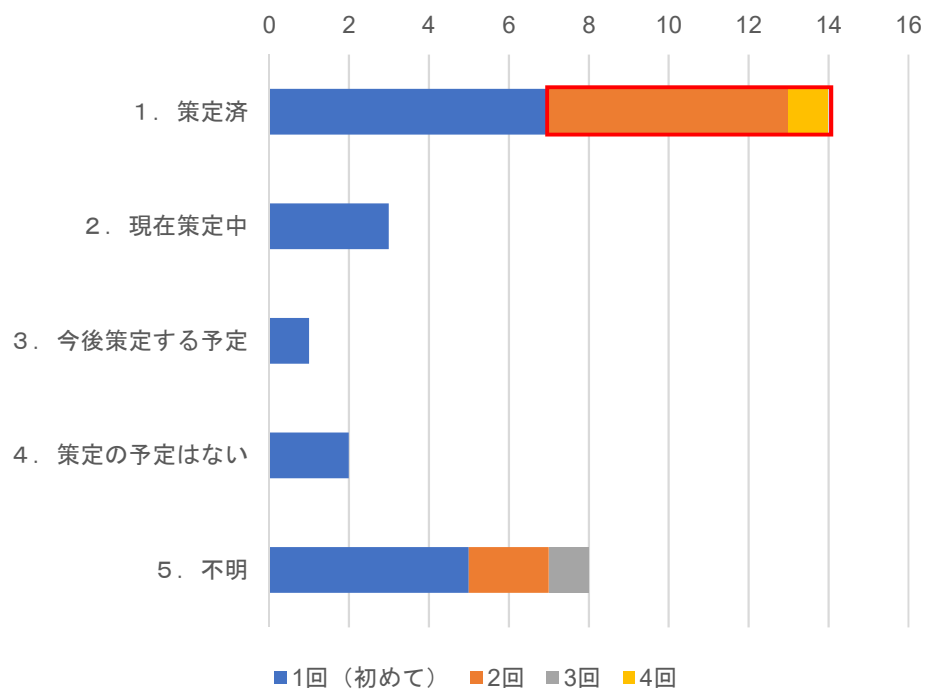
5. 貴社の事業継続計画の策定状況は現在どのような状況ですか。



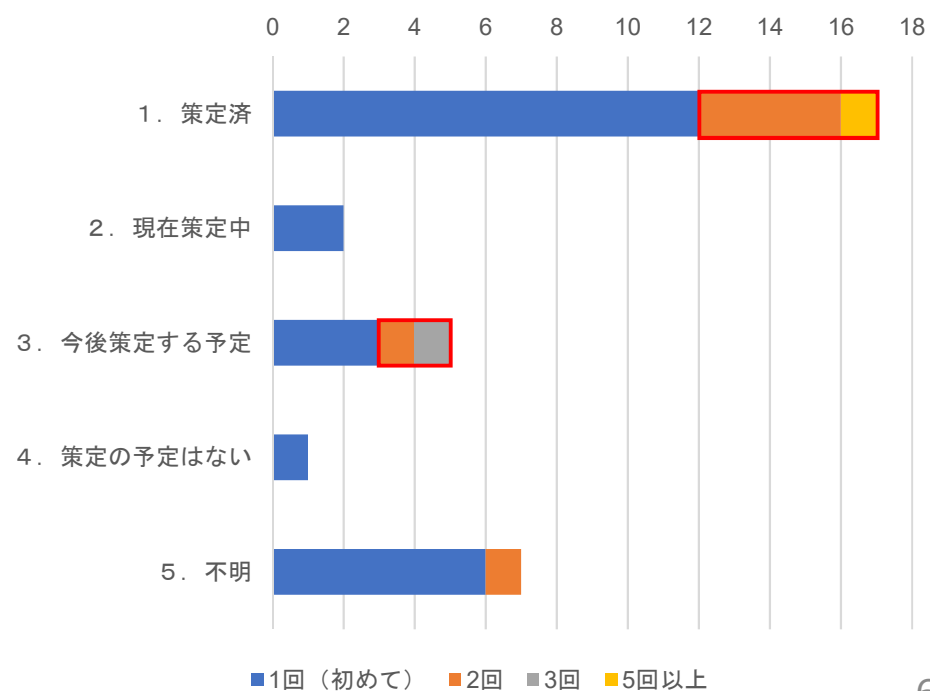
1-2 アンケート結果（事業継続計画策定状況と訓練参加回数）

① 事業継続計画策定状況と訓練参加回数について整理したが、特出すべき関係はなかった。

①内航WS



②外資訓練

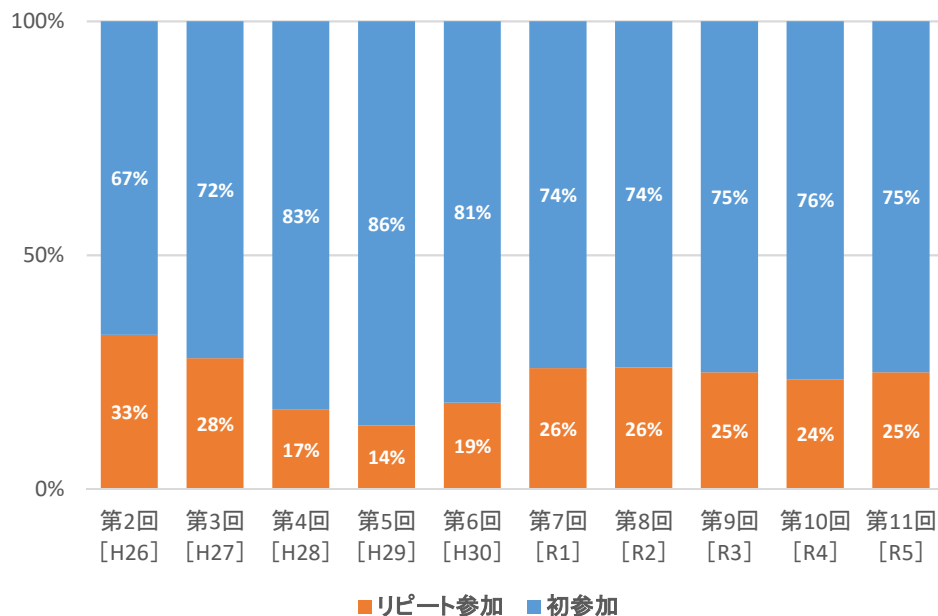


1-2 アンケート結果（参加リピート率の推移）

- ① 訓練へのリピート参加は、例年25%である。
 - ② 企業・団体別の訓練へのリピート参加は、今年度は71%である。
令和元年度以降半数以上の企業・団体がリピートしている。
- ⇒企業において訓練へ参加することの有用性が広まっていると考えられる。
- ⇒企業・団体内でのBCPや代替輸送の理解を深めるため、社員等を新たに参加させていることが考えられる。

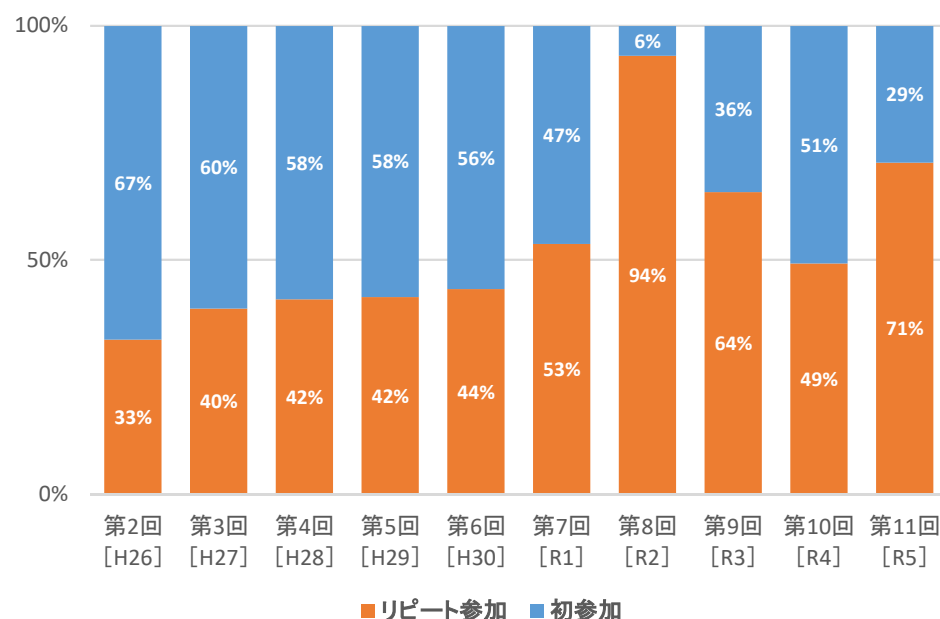
①参加者の訓練への参加リピート率

2. 平成25年から代替輸送訓練を実施しています。
過去に参加したことはありますか。



②企業・団体別の訓練への参加リピート率

- ※訓練参加者・視聴者の所属企業・団体が過去の訓練に参加がある場合にリピート参加とした。
(企業数で算出、企業の名称変更等は考慮せず)



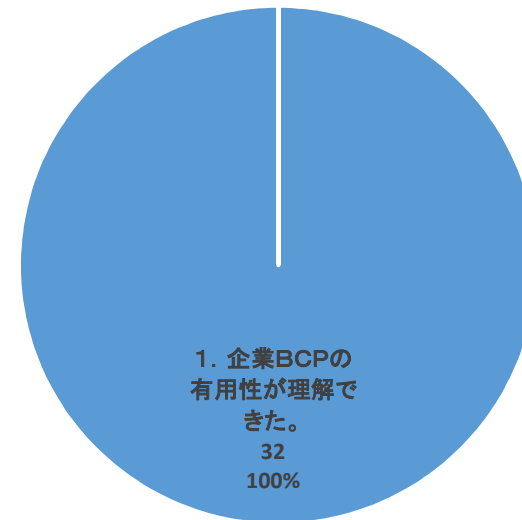
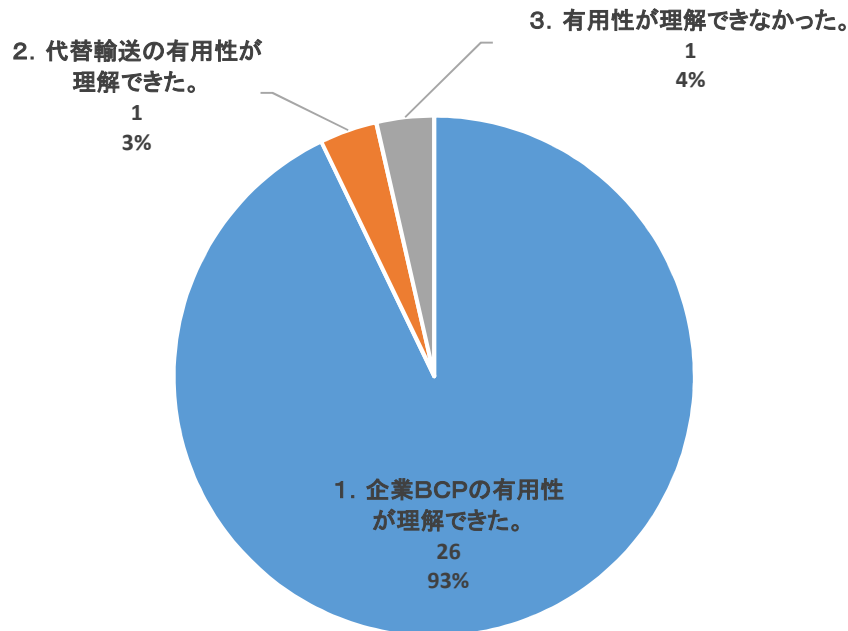
1-2 アンケート結果（WS・訓練の理解度）

- ① 内航WSでは9割の回答者が「企業BCPの有用性が理解できた」と回答した。
② 外貿訓練では、すべての回答者が「企業BCPの有用性が理解できた」と回答した。
⇒内航WS・外貿訓練の有用性が理解されていることが分かった。

①代替輸送訓練への感想（内航WS）

②代替輸送訓練への感想（外貿訓練）

3. 今回の代替輸送訓練についてどのように思われましたか。



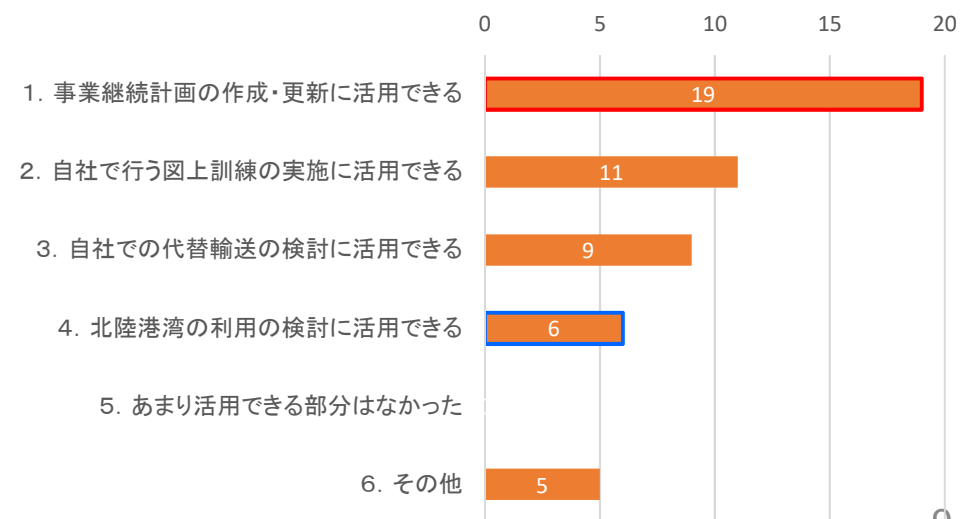
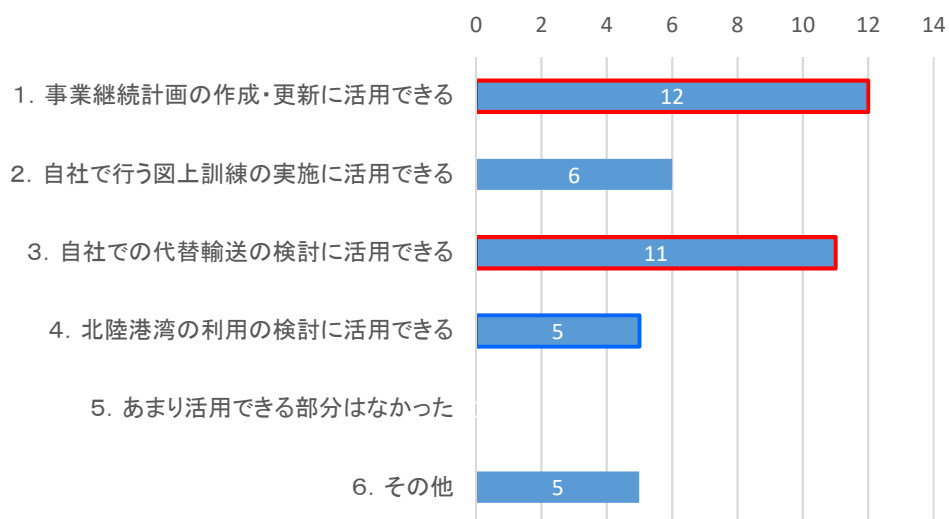
1-2 アンケート結果（事業継続計画への活用）

- ① 自社の事業継続計画への活用としては、内航WSでは「1. 事業継続計画の作成・更新に活用できる」の回答が最も多かった。
次いで、「3. 自社での代替輸送の検討に活用できる。」が多かった。
- ② 外貿訓練では「1. 事業継続計画の作成・更新に活用できる」の回答が最も多かった。
一方、内航WS及び外貿訓練で「4. 北陸港湾の利用の検討に活用できる」と回答した参加者は、少なかった。
- ⇒各参加企業において事業継続計画の更新や策定に今回の内航WS及び外貿訓練が活用されると考えられる。
- ⇒北陸港湾の利用の検討の活用については一定程度の理解は得られているが、全体としてはまだ低い傾向があると言える。

①自社事業継続計画への活用（内航WS）

②自社事業継続計画への活用（外貿訓練）

4. 今回のワークショップ/訓練を受けて、貴社の事業継続計画へは活用できそうですか。（複数回答可）



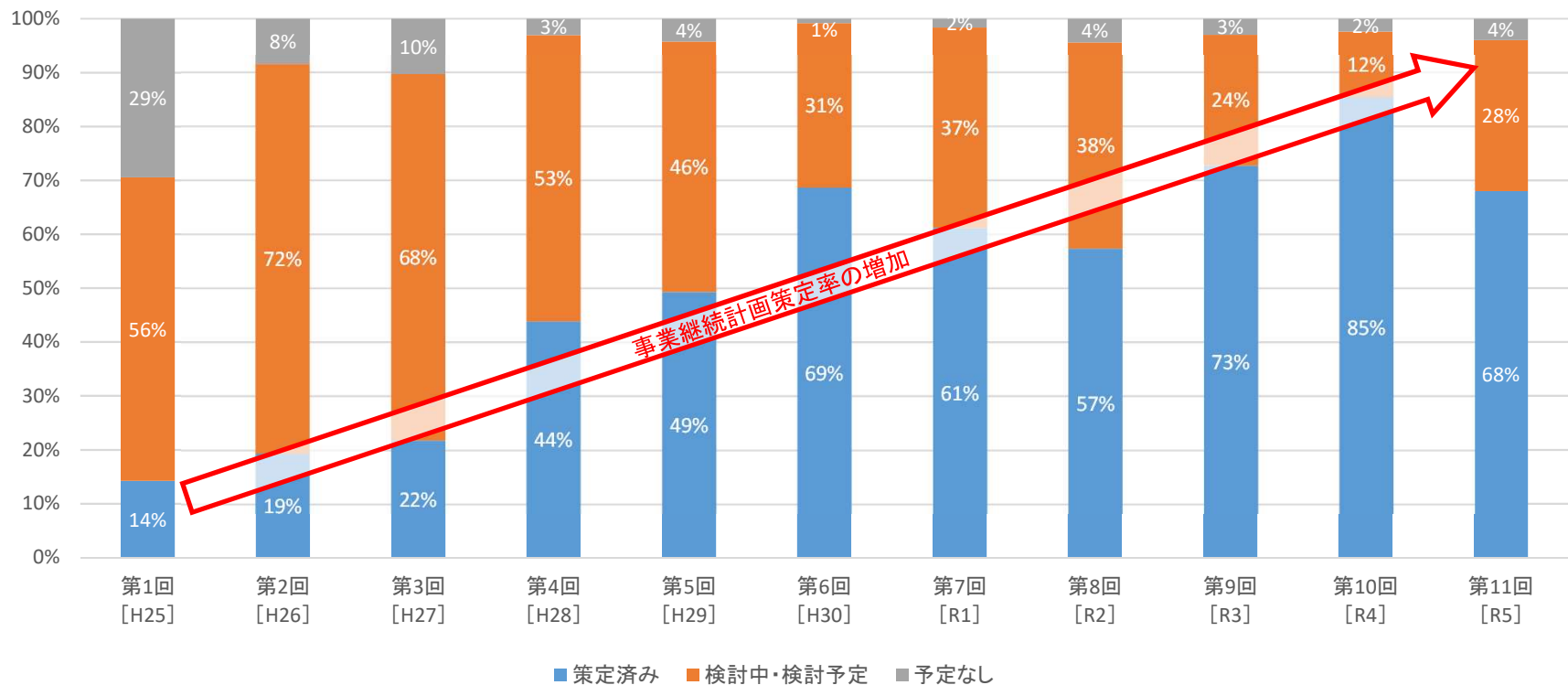
1-2 アンケート結果（外貿訓練のアンケート結果の推移）

① 事業継続計画を策定済みの参加者は、令和5年度：68%であった。事業継続計画の策定済みの割合が増加傾向である。

⇒訓練を継続的に実施することで、事業継続計画策定への対応が進展していることがうかがえる。

①事業継続計画の策定状況

5. 事業継続計画の策定状況は現在どのような状況ですか。

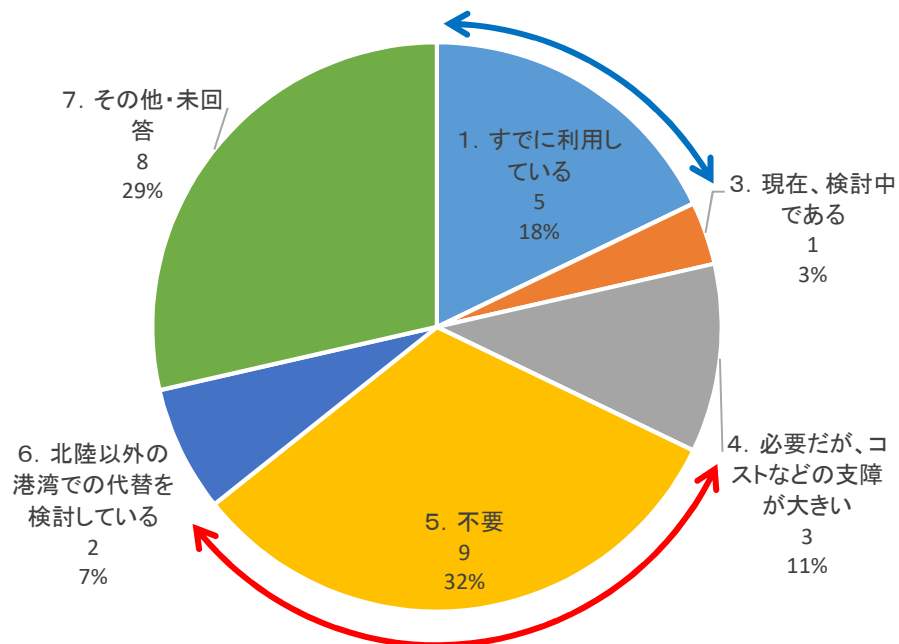


1-2 アンケート結果（自社事業継続計画の内容）

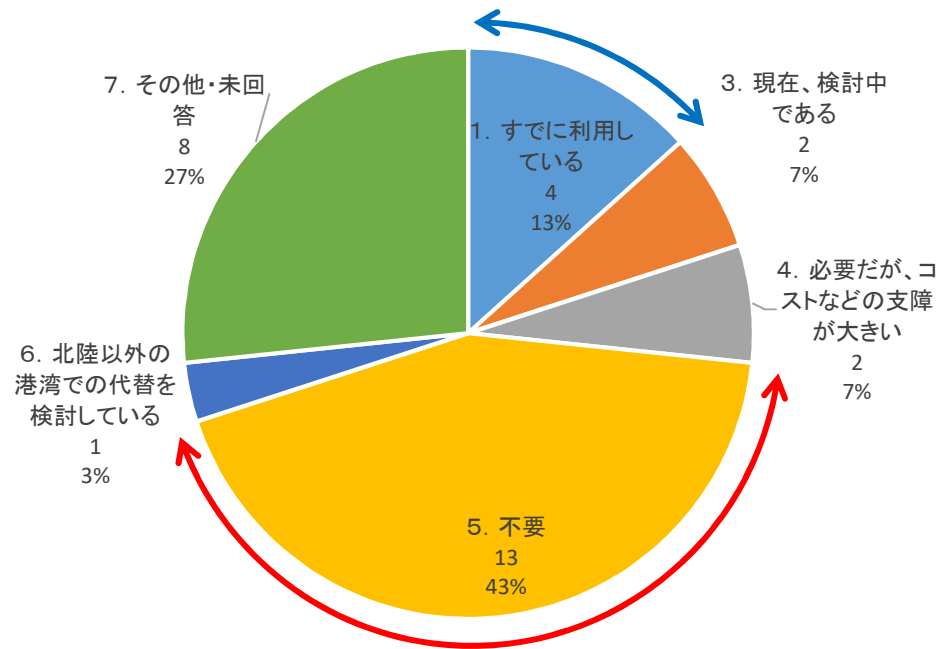
- ① 有事に備えた北陸の港湾の利用について、内航WS、外貿訓練とも「5. 不要」の回答が最も多い。
 - ② 内航WS、外貿訓練ともに、「1. すでに利用している」と回答した回答者は1～2割程度存在する。
- ⇒有事に備えた北陸港湾の利用は一定程度の理解は得られているが、全体としてはまだ低い傾向があると言える。

①有事に備えた北陸の港湾の利用（内航WS）

7. 有事の際に備えて、北陸の港湾を利用していますか。また、これから利用していく計画はありますか。



②有事に備えた北陸の港湾の利用（外貿訓練）



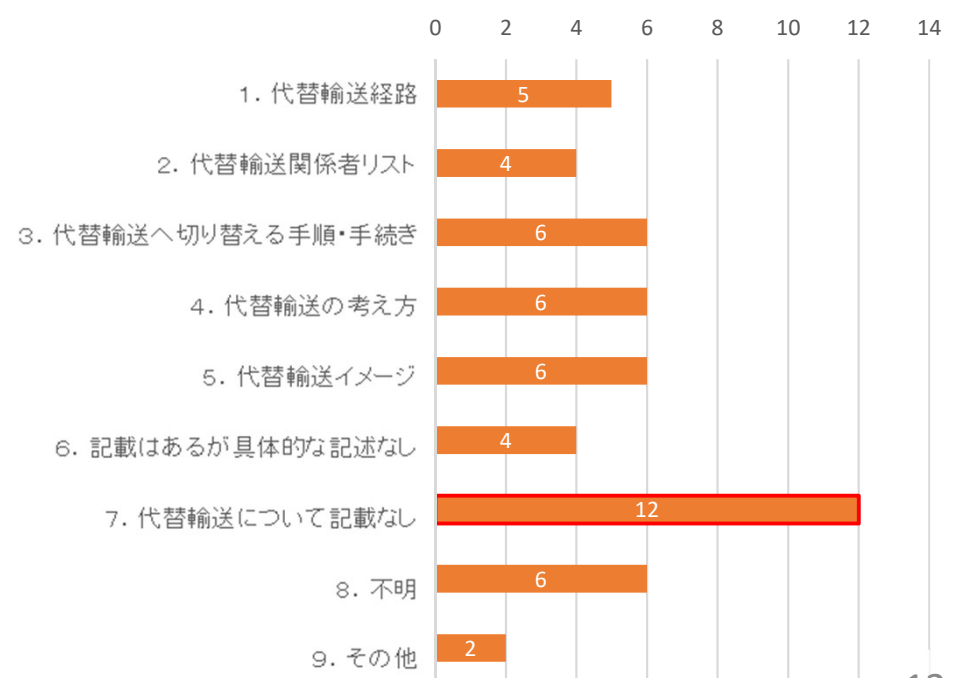
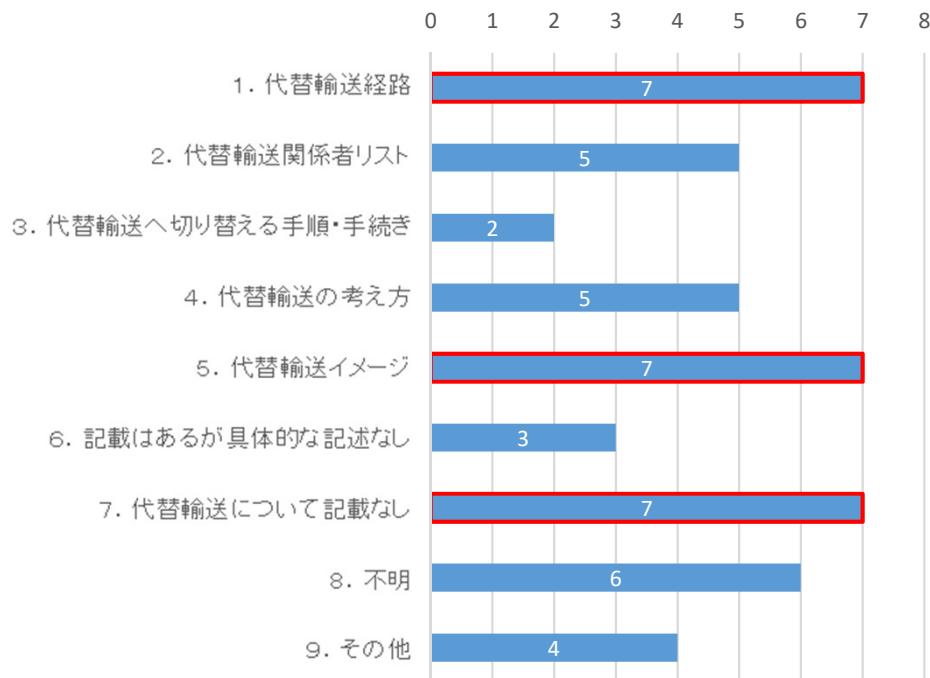
1-2 アンケート結果（自社事業継続計画の内容）

- ① 自社の事業継続計画の内容として、内航WSは、「1. 代替輸送経路」、「5. 代替輸送イメージ」、「7. 代替輸送について記載なし」の回答が最も多い。
 - ② 外貿訓練は「7. 代替輸送について記載なし」の回答が最も多い。
- ⇒内航WS参加者は代替輸送を自社の事業計画に記載している。
一方、外貿訓練においては引き続き自社の事業継続計画における代替輸送について記述するよう促す必要がある。

①自社事業継続計画の内容（内航WS）

②自社事業継続計画の内容（外貿訓練）

6. 貴社の事業継続計画に記載されている代替輸送の内容について教えてください。（複数回答可）



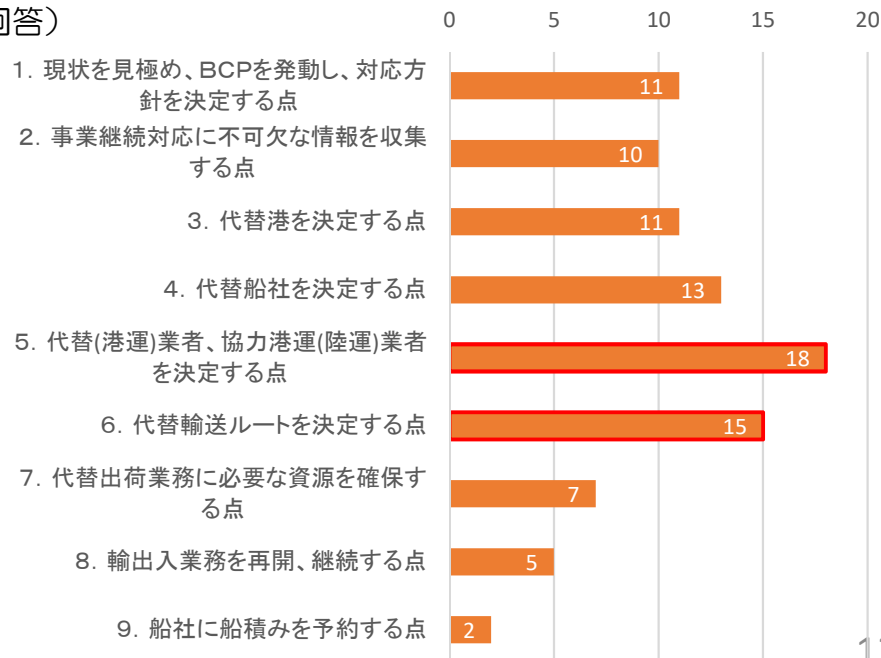
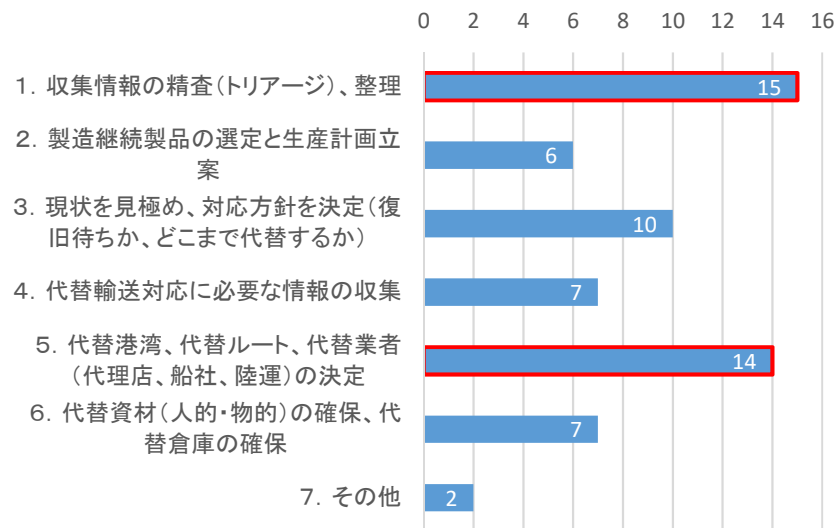
1-2 アンケート結果（代替輸送の手順の中で分かりにくい点）

- ① 代替輸送の手順の中で内航WSでは、特に「1. 収集情報の精査（トリアージ）、整理」、「5. 代替港湾、代替ルート、代替業者（代理店、船社、陸運）の決定」が分かりにくい・難しい点として回答が多かった。
- ② 外資訓練では、「5. 代替(港運)業者、協力港運(陸運)業者を決定する点」「6. 代替輸送ルートを決める点」が分かりにくい・難しい点として回答が多かった。
- ⇒代替業者やルート等の意思決定について訓練で体験することが重要である。
ただし、模擬会社BCPに権限移譲の意思決定ルールが記載されているが、模擬会社BCPが参加者に十分理解されていない可能性がある。

①代替輸送の手順の中で分かりにくい点（内航WS）

②代替輸送の手順の中で分かりにくい点（外資訓練）

8. 被災時に事業継続のため代替輸送を行うことを想定した際に、手順の中で分かりにくい点や難しいと思う点があれば教えてください。（複数回答）



1-2 アンケート結果（今後、提供して欲しい情報）

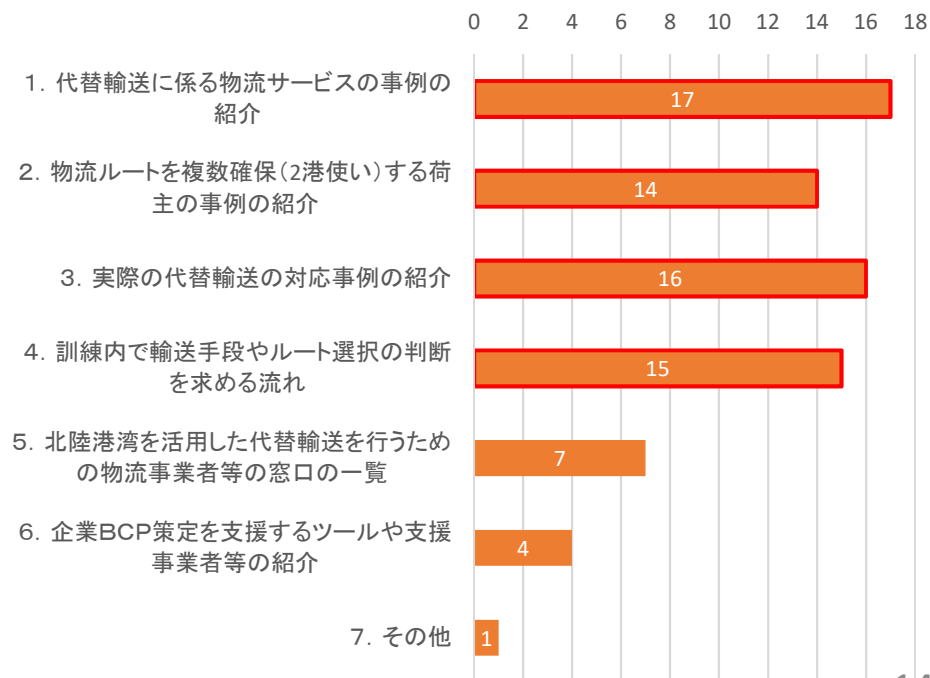
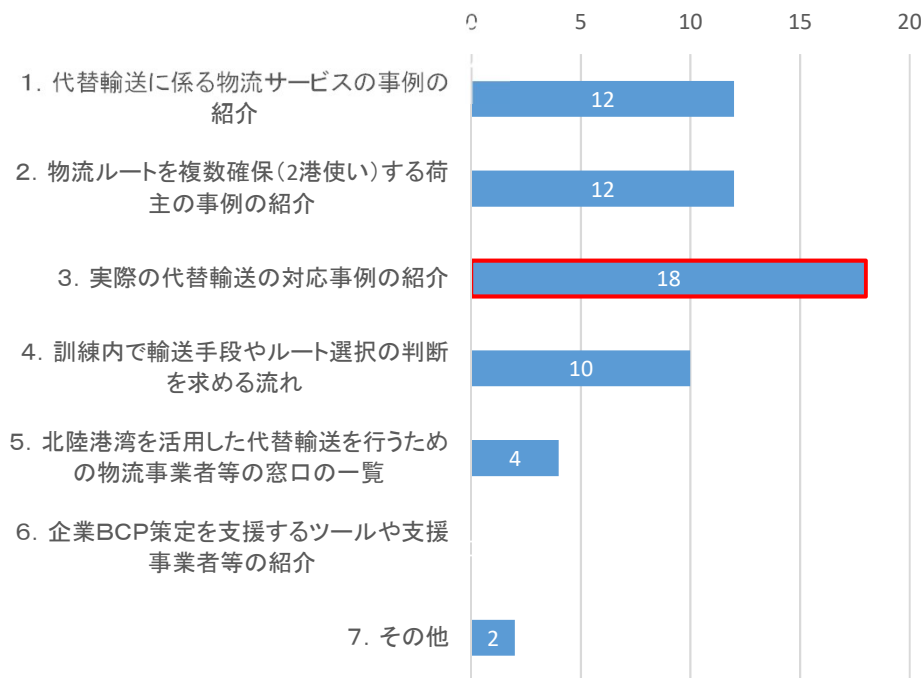
- ① 提供して欲しい情報として、内航WSでは「3. 実際の代替輸送の対応事例の紹介」が最も回答が多かった。
- ② 外貿訓練では、「1. 代替輸送に係る物流サービスの事例の紹介」、「2. 物流ルートを複数確保（2港使い）する荷主の事例」「3. 実際の代替輸送の対応事例の紹介」「4. 訓練内で輸送手段やルート選択の判断を求める流れ」の回答が多かった。

⇒代替輸送に係る事例や物流サービスの紹介を手引書やワークショップ・訓練に盛り込むことが必要と考える。

①今後、提供して欲しい情報（内航WS）

②今後、提供して欲しい情報（外貿訓練）

9. 今後の代替輸送訓練において提供して欲しい情報があれば教えてください。（複数回答可）



1-3 アンケート結果を踏まえた今後の方針（案）

アンケート結果(課題等)	今後の方針(案)
<p>1. 訓練の参加</p> <ul style="list-style-type: none">●企業において訓練へ参加することの有用性が広がっている。●内航WS・外資訓練の有用性が理解されている。	<p>■：訓練 ■：手引書 ■：広報</p> <p>①訓練の有用性を高めるため、今年度の成果を踏まえ、実施内容を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none">・内航WSは、「演習訓練」形式で実施する。・外資訓練は、陸上輸送のボトルネックとなる点を含んだ演習訓練とする。
<p>2. 事業継続計画策定状況</p> <ul style="list-style-type: none">●各参加者の企業において事業継続計画の更新や策定に今回の内航WS及び外資訓練が活用される。●訓練を継続的に実施することで、事業継続計画策定への対応が進展。	<p>②事業継続計画の策定をより広めるため、訓練の参加者を増やすよう、募集方法を工夫する。</p>
<ul style="list-style-type: none">●北陸港湾の利用の検討の活用については一定程度の理解は得られているが、全体としてはまだ低い傾向がある。	<p>③代替輸送や有事に備えた北陸港湾利用の必要性について手引書等で解説をする。</p> <p>④代替輸送の重要性を広めるため、訓練の結果や改訂した手引書の広報を工夫する。</p>
<p>3. 自社事業継続計画の内容</p> <ul style="list-style-type: none">●有事に備えた北陸港湾の利用は一定程度の理解は得られているが、全体としてはまだ低い傾向がある。●外資訓練においては引き続き自社の事業継続計画における代替輸送について記述するよう促す必要がある。	<p>⑤訓練の模擬会社BCPについて、訓練参加者が理解しやすいように訓練方法を工夫する。</p> <p>⑥訓練参加者へのフィードバックとして、訓練の結果や改訂した手引書等を送付する。</p>
<p>4. 代替輸送の手順の中で分かりにくい点</p> <ul style="list-style-type: none">●模擬会社BCPが参加者に十分理解されていない可能性がある。	<p>⑦実際の代替輸送事例を参考にした、代替輸送の判断の流れの事例紹介や代替輸送に係る物流サービスの紹介を手引書に記載する。</p> <p>⑧上記⑦の事例を訓練の際にも紹介する。</p>
<p>5. 提供して欲しい情報</p> <ul style="list-style-type: none">●代替輸送に係る事例や物流サービスの紹介を手引書やワークショップ・訓練に盛り込むことが必要。	

2. 令和5年度内航WS・外資訓練の課題点・反省点

2-1 参加者募集の課題点・反省点

令和5年度内航WS・外貨訓練の課題点・反省点

令和6年度の訓練での対応(案)

• 参加者をより多くするための対応が必要である。

- 業界新聞等メディアを通じて募集する。
- 事務局側で、過去にヒアリングに行ったことのある事業者への声かけやバックアップに共催・後援している団体などへ、訓練参加への広く積極的な呼びかけを行う。

• 運送事業者等の参加者が少なかった。

- 第1回専門部会で概要や訓練の効果をより具体的に発表する。
- 運輸局及び運輸局に関係する団体に参加要請を行う。
- トラック協会へ参加要請を行う。

• 例年にならい、参加と視聴の2つの参加方法で募集を行ったが、「視聴」が多く、議論をさらに活発化させるためには、全員、参加とすべきではないか。

• 来年度は「参加」を原則として募集とする。

2-2 訓練を円滑に進めるための課題点・反省点

令和5年度内航WS・外貿訓練の課題点・反省点

令和6年度の訓練での対応(案)

- 模擬会社のBCPや手引書を事前に確認している方が少なく、演習中に確認している方が見られた。

- 事前説明会で模擬会社のBCPについて説明の時間を設けたり、模擬会社のBCPの事前読み合わせを行うことを検討する。
- 模擬会社のBCPを把握している人が運営側から参加する。
- 模擬会社のBCPを理解しているサポーターまたはコントローラーが理解を支援する。

- 各チーム(班)の前提をしっかりと整える必要あり。Aチーム(1班)は、模擬会社のBCPが整っている前提であるが、その内容が参加者には、十分認知されていなかった。

- 各班のサポーターは各チーム(班)の前提をしっかりと把握した上で、リードする。
- 各班に分かれて演習に入る前に前提をもう一度共有する。
- 前提の情報が多いため、予め各役割を整理して説明する。

- 1班が当日キャンセル等により参加者が1名とになってしまい、他社との意見交換ができなかった。

- 参加者が1名や少ない場合は他の人数が少ないグループへ統合する、などの対応方法を事前に決めておく。
- 欠席者が多く出た場合には、補充できる予備的なメンバーも控えておくようにする。

- Linoの同時書き込み・更新がうまくできなかった班があった。

- Linoの同時書き込み・更新に関するルールを事前に説明する。
- Excelオンラインなど各自のアイコンが表示出来るツールを利用する。

參考資料

参考：次年度以降の訓練のテーマ・方法、運営方法についてご提案や改善点

10. 今回のワークショップを受けて、次年度以降の訓練のテーマ・方法、運営方法についてご提案や改善点、その他ご感想がありましたらご記載ください。

①10/31内航WS

- ・今回は自動車部品会社としての納入手法を訓練しましたが、今度は逆に自動車メーカーの調達部門に扮して、仕入先からの納入がどうなるのかを訓練しても面白いと思いました。
- ・グループディスカッション参加者が1名だったので、他社様との意見交換のためにも人数が少ないチームは他のチームへ再編していただけたらよかったです。
- ・貨物船舶会社、貨物鉄道会社の方にも参加していただければなお良いと思う。
- ・制限時間の中で検討項目が多いと感じましたので、部分的に集中的に行い、考察する訓練などもよいと思いました。
- ・大雪による代替を中心にした訓練があるといいです。
- ・訓練時間が少し長いように感じました。

②11/1外貿訓練

- ・設問9※の項目を盛り込んだ訓練の方がより具体的な訓練になると感じた。
※「提供して欲しい情報があれば教えてください。」
- ・模擬会社にBCPがある場合は、事前にあることを上手く伝えてあげればよかった。
- ・付箋アプリについて、共同編集がしにくかったので、予め把握出来ていれば無駄なく進められたのかなと思いました。もしくは、単純にExcelオンラインみたいに各自のアイコンが表示出来るものがあれば良いと思いました。
- ・内容は、事前説明を受けていたとしても情報が多いため、特に予め登場キャラクターを整理ないし図式化しておけば良かったと反省しました。
- ・事務局側が用意した模擬会社の設定が旧大宮市だが、首都直下地震(東京震度7、埼玉震度6強)ではありえない設定となっている。余震が続くことが想定され、今回のような業務をする余裕は全く無いのでは？ この内容で行うのであれば、福島市や仙台市あたりで設定しておけば良いと思う。
- ・訓練状況などをいつでも見れるようにしてほしい。
- ・訓練の内容をもう少し複雑なものにしても良いのではないのでしょうか。例えば、海上輸送の代替輸送を課題の中心にするのではなく、その課題に加えて、国内の陸上輸送でのボトルネック克服やそれを乗り越えるための事前対策の要点にまで踏み込む内容が良いのではないかと思います。おそらく実際の場面では、その有事における即席の対策では有効な手は打てず、肝は事前対策になる事はほぼ確実です。そのあたりにフォーカスしていく事で本当のBCP、ひいては国土強靱化が実現するのだと思います。